



個室ユニット推進協ニュース Number 88

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

1面	執行委員会報告<議事録> 「全国研修大会に向けて」 大会長 平山 登志夫
2面	新規入会施設のご案内 全国研修大会準備状況報告 ユニットケア研修関係
3面	施設紹介 <千葉> 印旛晴山苑 <千葉> 鎌ヶ谷翔裕園
4面	ニュースを読む 介護関連ダイジェスト ユニットケア研修情報

外国人労働者の受け入れ拡大

共同通信委員論説委員 榎原多計志



アベノミクス・成長戦略で機運高まる 賛否両論 EPAの検証が不可欠

日本で働きながら技術を習得してもらう技能実習制度の対象として「介護」や「林業」などまで広げ、受け入れ期間も最大3年から5年に延長する構想が現実味を帯びてきた。安倍首相の外国人労働者受け入れ拡大の指示を受け、政府内での検討が始まっている。介護現場などが深刻な人手不足に陥っていることが大きな理由だが、経済界では「必要な労働力を確保できないければ、経済成長は望めない」との働き掛けが追い風になっている。だが、就労期間の限られた外国人実習生が真の戦力になり得るか、など疑問視する意見もあり、賛否が分かれている。

▽「介護」は最有力

安倍首相の指示の下、経済財政諮問会議と産業競争力会議の民間議員は女性の就労支援などとともに「介護」「林業」「建設」などの職種を新たに外国人技能実習生として受け入れ、実習終了後も2年間の就労延長を認めるよう提言した。実現すれば、最長で5年間、働けることになる。法務省も受け入れ拡大の方向で検討を始めており、機運がさらに高まっている。

職種として最も有力なのが「介護」。専門職である介護福祉士の実習生として受け入れる可能性が高いという。二国間の経済連携協定(EPA)によってインドネシア人、フィリピン人、ベトナム人を受け入れている実績があることも大きい。

こうした動きに反対する意見も目立ち始めた。日本弁護士連合会は外国人労働者の期間限定就労に強く反対している。劣悪な環境の下で働かせた挙げ句、使い捨てにするようなブラック企業の温床になりかねないとも批判する。

厚生労働省幹部は「潜在化している介護福祉士の復帰や、現職を離職させない待遇改善などを優先すべき。外国人労働者への受け入れのペースに日本に定住してもらうような社会環境の整備が必要ではないか」と話す。

とは言え、介護現場の人手不足は深刻で、外国人労働者の受け入れに積極的な介護事業者が少なくない。EPAによる受け入れの実績を検証し、結論を出すべきだろう。もちろん介護現場や利用者の声を反映させることが前提条件になる。

介護・関連 審議会等 来週 来週

第11回社会福祉法人の在り方等に関する検討会 (5月19日)

厚生労働省が示した「これまでの主な意見の整理」(論点整理)を議題として意見交換した。次回6月16日の第12回検討会で報告書を取りまとめる。

(注) 制度改正が必要事項については、厚労省が次の通常国会へ関連法改正案を提出する方針。

【論点整理】(ポイント)

- 社会福祉法人の今日的な役割
- (法人は)多様な・複雑化している
- ニース、市場で成立しないサービス、制度間の狭間にあるサービスに対応すること。福祉サービスに先駆的・開拓的に対応すること。
- 社会福祉法人制度の論点(検討すべき6つの論点)
- II-1 地域における公益的な活動の推進
- 社会貢献事業の法的な位置付け、資金使途の柔軟化、法令上の制約の見直し
- 複数の協働化、社会貢献事業への財源拠出の義務化、活動の公表など。
- II-2 法人の組織
- 法人組織の権限と責任を明確化、法人本部の機能強化、全法人の評議員会設置
- 理事長等の権限及び責任の明確化、経営委員会や執行役員等の活用など。
- II-3 法人の規模拡大・協働化
- 理事長の能力向上、法人の設立・存続要件の見直し、合併・事業譲渡の透明化、資金の協働化(地域での協働事業、資金用途の柔軟化、措置事業の取り扱い留意など)。
- II-4 人材確保
- イメージアップ、キャリアパスのモデル化、キャリアコースの協働化など。
- II-5 透明性の確保
- 財務諸表等の開示(全国共通様式、内部留保の使途・目的の明確化など)、地域での取り組みの公表、都道府県単位の情報集約(補助金の公開など)。

第101回介護給付費分科会 (5月23日)

平成27年度介護報酬改定に向けて実質的な審議を開始した。定期巡回・随時対応型サービス、小規模多機能型居宅介護、複合型サービス、訪問看護について厚労省が示したデータを基に議論した。利用が伸び悩んでいる定期巡回・随時対応型と複合型に対し、委員から厳しい意見も出た。厚労省が示した論点(抜粋)と委員の意見を整理した。

【定期巡回・随時対応型サービス】

- 通所サービス利用時の減算や区分支給限度基準と関係をどう考えるか
- 夜間早朝のオペレーター要件を緩和すべきか
- 同一の集合住宅とそれ以外の利用者の報酬をどう考えるか
- 訪問介護・身体介護の20分未満報酬区分をどう考えるか
- 意見交換「オペレーターなど」人員配置の要件が厳しい上、採算をとれないなど基本的な問題が多い。「自治体からニースがない」との指摘がある
- 必要なサービスであり、包括払いを改めるなど(報酬の一部を見直し、推進すべき)など。
- 訪問機能の強化策(25名登録定員)

第102回介護給付費分科会 (6月11日)

平成27年度介護報酬改定に向けて議題を整理した。

- 認知症への対応、高齢者向け住まい
- 論点を抜粋
- 【認知症対応型共同生活介護】
- カテゴリーなど重度の医療ニーズのある入居者に対応する医療連携をどう考えるか
- 夜間・深夜の加算による配置増員をどう考えるか
- 重度化で備え付けの福祉用具では対応できない状態をどう考えるか
- 事業規模に関わらず、「3人以下」とされている共用型サービスの定員基準をどう考えるか
- 認知症の介護報酬 認知症に関連した加算が多いが、どう考えるか
- 【意見交換】「夜間の加算は前向きに考えようか」
- 加算を包括的に考えたうえで、適切なサービス提供をどう考えるか
- 事業所と集合住宅(有料老人ホーム) サービス付き高齢者向け住宅など)が、一体的な建物に限って減算しているが、どう考えるか
- 【意見交換】「不適切なサービス提供に減算が必要だ」「集合住宅に見合った別枠の報酬体系をどう考えるべきか」など。
- 【集合住宅の減算について】
- 市町村の介護保険事業計画との連携やケアプランの適正化が必要だが、さらにどのような対応が必要か
- 【集合住宅の適正化について】
- 集合住宅は移動の労働力が軽減されるため減算1、2の利用者増加による利用者負担にかかわる利益の供与・收受を禁じたが、減算の在り方をどう考えるか
- 事業所と集合住宅(有料老人ホーム) サービス付き高齢者向け住宅など)が、一体的な建物に限って減算しているが、どう考えるか
- 【意見交換】「不適切なサービス提供に減算が必要だ」「集合住宅に見合った別枠の報酬体系をどう考えるべきか」など。

前年度決算案など4案を了承

本年度・第1回執行委員会 開く 27年度介護報酬改定に積極的に対応

全国個室ユニット型施設推進協議会(推進協、赤枝雄一会長)は6月11日、東京都港区のフクラシア浜松町で平成26年度第1回執行委員会を開き、第9回社員総会(6月24日、東京都港区)に提案する25年度事業報告及び決算報告案など4議案を了承した。また、厚生労働省の社会保障審議会介護給付費分科会27年度介護報酬改定をめぐる審議が始まり、推進協としてより積極的に対応すべきとの共通認識で一致した。



平山登志夫大会長 (晴山会・理事長)

5月27日、「全国研修大会in千葉」の平山登志夫大会長(全国福祉法人晴山会・理事長)は、全国大会に向けての意気込みを聞いた。

「超高齢化社会を迎え、認知症高齢者や重複した病気をかかえる高齢者も増えている。社会保障給付費のうち高齢者関係給付費の占める割合は増え続けており、社会保障は危機に直面している。消費

全国研修大会に向けて 大会長 平山 登志夫

税が8%以上上がり、今後10%以上がともなう。社会保障費を賄えないところまで来ています。20%、30%になってもまだ足りないのではないかと、高年齢介護を支える人手が少ないうちの問題はあるが、このように高年齢介護を支える人手が少なくなってきたのは個室ユニット型が適している。個室ユニット型は人手不足の問題をはじめとして、経営の面でも課題はあるが、どのように運営し

【全国研修大会in千葉】開催日 11月13日(木) 12時半～14日(金) 12時半

会場 シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル

7月1日(火)より申込受付開始

【全国研修大会in千葉】開催日 11月13日(木) 12時半～14日(金) 12時半

会場 シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル

7月1日(火)より申込受付開始

【今後の予定】

- 6月13日(金) 全国研修大会in千葉実行委員会(千葉県浦安市・シェラトンホテル)
- 6月24日(火) 10時～11時半 理事会
- 13時半～16時半 総会(東京都港区・国際文化会館)

6月11日の第1回執行委員会に先立ち、参集した役員と事務局担当者間で情勢報告や意見交換が行われた。介護報酬改定のほか、社会福祉法人の在り方、消費税率再引き上げ(来年10月1日予定)、介護職員の処遇改善、外国人労働者の技能実習拡大など推進協として取り組むべき課題が指摘された。

事務局から、政府の動きとして①介護保険と医療保険の制度改正案を一本化した「地域医療・介護総合確保促進法案」は今国会で成立する見通し②社会保障審議会介護給付費分科会が平成27年度介護報酬改定について年末に意見集約する③人手不足の職種(介護、建設、林業など)について外国人技能実習制度を拡大する動きがある他、厚労省でも検討会を立ち上げ、今秋、福祉人材に関する報告書をまとめる④規制改革の一環として厚労省が社会福祉法人の見直し案を近く公表するなどを報告した。

役員から「利用料2割負担となる所得要件が変更されると聞いた」「個室ユニットの定員を少し増やしてもよいのではないか」「消費税率の再引き上げや補給削減の動きに対応する必要がある」「データに基づいて要望などをまとめるべきだ」「介護人材の不足は深刻で外国人介護職員は歓迎だ」との声が上がった。

この後、介護報酬改定について介護保険委員会を軸に推進協としての取り組みを取りまとめることで一致した。

【事務局より】

【ホームページ作成します(無料)】

社会福祉法人にインターネットでの財務諸表の開示が義務付けられました。

【ユニットケア研修】

4月より、ユニットケア研修オンライン申込みが始まりました。推進協ホームページトップ画面(http://sushinko.net/)の「オンライン申込」から予約画面に入ることが出来ます(後期分のお申込み開始は7月1日からです)。

【オンライン申込みについて】

※ホームページでご案内済みですが、今月号は記事掲載の都合上、発行日を延期しました。ご了承のほどお願いいたします。

施設紹介 千葉県

11月の全国研修大会を前に、千葉県の2施設をご紹介します。

Vol.80 社会福祉法人晴山会 特別養護老人ホーム 印旛晴山苑

地域とグループ間との交流で豊かな暮らしを



介護ベッドや浴槽を体験する園児たち



園児が元気に歌やお遊戯を披露する姿を嬉しそうに眺める人感極まって涙を流す。近隣にある瀬戸幼稚園から年に1回、60名の園児が2日間に渡って施設を訪問する。園児が元気に歌やお遊戯を披露する姿を嬉しそうに眺める人感極まって涙を流す。

園児の施設体験
近隣にある瀬戸幼稚園から年に1回、60名の園児が2日間に渡って施設を訪問する。園児が元気に歌やお遊戯を披露する姿を嬉しそうに眺める人感極まって涙を流す。



施設長による年2回のBBQ
普段はユニットに分かれて業務を行うため、職員が一同に会する機会は少ない。そこで職員の親睦をはかるために、飯田進公施設長が私費で年2回バーベキューを行っている。三月と五月の節句には桜餅や柏餅を、利用者、職員にふるまう等、施設内のより良い関係づくりに努めている。

〒270-1612 千葉県印西市大廻 187 TEL0476-99-2522 FAX0476-99-2544
【特養】定員90名【ショートステイ】10名【デイサービス】30名



印西市



特別養護老人ホーム印旛晴山苑（平山登志夫理事長）は、「住みよきランキング」で2年連続トップとなった千葉県印西市にある。千葉ニュータウンに近く、印旛日本医大駅から車で10分ほどの所にあり、周囲は野菜畑や栗畑に囲まれ、後方にはスギやヒノキの林があり、自然環境にとても恵まれている。秋には、もみ殻に煙突を立てた本格的な焼き芋も食べられる。

地域とのふれあいを大事に

人気を呼んでいるのが週1回の野菜直売所。近くの農家の方が、野菜を直売する。新選な野菜は人気があり、あっと言う間に売り切れとなってしまう。野菜の売り上げの10%は、クロ・マル貯金（後述）へ寄付してもらっている。印旛晴山苑では、こうした地域とのふれあいを大事にしている。

グループ間の交流を大事に

晴山会グループでは、グループ間の交流を大事にしている。就労・生活支援センター「飛鳥晴山苑」（東京都北区）では、毎日作業の一環としてパンを焼いていて、月2回、印旛晴山苑にパンを届ける。届いたパンは利用者のおやつに。帰りのトラックには地元の方々が作った新鮮な野菜を積んで、飛鳥晴山苑へ戻る。飛鳥晴山苑の利用者の家族、地域の方々や職員も、印旛から届く新鮮な野菜を楽しみにしている。

Vol.81 社会福祉法人長寿の里 特別養護老人ホーム 鎌ヶ谷翔裕園

「家族主義」ここにある、我が家のような、あたたかさ。



鎌ヶ谷市内1位に選ばれた施設の桜

実践し、また、実富地区社会福祉協議会とともに元気な高齢者の集いの場「サロン翔友会」を毎月開催して、

「喫茶ルーム(Conforto)」イタリアをイメージした喫茶ルーム
(Conforto)を今年の2月にオープンしました。お部屋やリビングとは違う雰囲気の間で、ご家族や入居者さま同士でのくつろぎの空間になっています。



〒273-0121 千葉県鎌ヶ谷市初富東野 848 番地 10 TEL047-498-5715 FAX047-446-9393
【特養】定員104名【ショートステイ】26名【デイサービス】35名

鎌ヶ谷市



特別養護老人ホーム鎌ヶ谷翔裕園は、千葉県北西部の鎌ヶ谷市にあります。柏市、白井市、松戸市、市川市、船橋市の5つの市に隣接し、人口約10万人。果物の豊かな産地である市でもあります。施設の近くに栗畑があり、非常にのどかな場所です。社会福祉法人長寿の里(神成裕介理事長)は、千葉県の高齢者保健福祉向上に貢献するため、平成10年3月に法人を設立しました。

「家族主義」ここにある、我が家のような、あたたかさ。

施設理念の「家族主義」を実現すべく、入居者さまの心に寄り添う介護を



「喫茶ルーム(Conforto)」イタリアをイメージした喫茶ルーム
(Conforto)を今年の2月にオープンしました。お部屋やリビングとは違う雰囲気の間で、ご家族や入居者さま同士でのくつろぎの空間になっています。

おむつはずしの実践



ご利用者の皆様の意向や尊厳を重視した取り組み
鎌ヶ谷翔裕園では25年より、入居者さまの「当たり前の生活、すなわちその人らしい生活」を目指して、介護職の専門性の「気づき」の視点と尿量測定器を用いた「科学的根拠」を基に、入居者さまの意向や尊厳を重視した「排泄ケア」に取り組んでいます。

「サロン翔友会」での掘り

地域に根差す取り組みにも力を入れています。
私たちの介護を見て感動し、地域のお年寄りの為に何かしなければと言う人が増え、それが地域を動かかし、高齢者福祉や福祉行政のあり方が変われば、最終的に高齢者が幸せになっていく「感動介護」。

新規入会施設のご案内

＜平成26年6月＞
個室ユニット型施設の将来と協議会の更なる発展を、共に考えてくださる施設が増えました。支部会・研修会に、多くの方にご参加いただけるようぜひ会員相互でお声掛けください(6月11日現在)

地域	法人名	代表者	施設名	施設所在地
1 奈良県	太樹会	理事長 植島 宏信	和里(にこり)	大和高田市野口
2 福岡県	恵仲会	理事長 杉野 庄式	共生の里津福	久留米市荒木町白口

全国研修大会 in 千葉 準備状況報告

5月28日、『全国研修大会 in 千葉』の実行委員会はweb会議を開き、大会の決定事項や進行状況について確認した。後援団体や講演者の確定が進み、協賛企業についても目標まであと一息で(※5月29日に協賛企業目標額300万円達成)、今後は集客のための広報活動に力を入れる。

7月1日より申込み受付開始!

6月はじめに千葉県内にリーフレットを500~800部配布。また実行委員会でご分担し、近隣施設等にポスター掲示の協力を求める。参加申し込みについては、7月1日から推進協ホームページでWEB受付を開始する。

プログラム決定!

- 1日目 11月13日(木)**
12:30 開会式 **福祉機器展同時開催**
12:50 基調報告
13:15 特別講演★①認知症ケア専門士単位認定講座
■「現場から考える社会保障～報酬改定と10年後の制度」中村秀一氏(医療介護福祉政策研究フォーラム理事長)
15:15 分科会
1. 認知症の地域ケアと配慮した施設ケア
★②認知症ケア専門士単位認定講座 日本認知症ケア学会
2. 施設管理者に求められる理想像 介護アドバイザー 高口光子氏
3. 個室ケアを追求した様々な事例発表
4. 施設になんて入居したくない? ~自分達が入りたい施設をめざして~
18:15 情報交換会(参加費お1人様8,000円)

- 2日目 11月14日(金)**
9:10 記念講演 **一般公開** **福祉機器展同時開催**
■「人を幸せにする介護とは何か!」三好春樹氏(生活とリハビリ研究所代表)
10:50 シンポジウム
■「その人にとって幸せな介護・医療・福祉とは」コーディネーター・三好春樹氏(生活とリハビリ研究所代表)パネリスト・小野沢滋氏(北里大学病院トータルサポートセンター長 亀田総合病院 地域医療支援部顧問) 赤羽克子氏(聖徳大学教授) 広岡成子氏(認知症の人と家族の会千葉県支部代表) 井手明利氏(特別養護老人ホーム望洋の郷施設長)
12:30 閉会 ※詳細は同封のチラシをご覧ください。

推進協ホームページのリンク・バナーを 作りしました。
⇒ 個室ユニット型推進協
推進協をアピールして、会員施設増加に繋がります。施設のホームページにリンク貼付のご協力をお願いします。ダウンロードは推進協HPから。http://suishinkyu.net/

ユニットケア研修 7月1日(火)より後期募集開始!

推進協は7月1日(火)より、平成26年度後期ユニットケア研修の受講生募集を開始する。受講申し込みは郵送、またはオンラインで。
(https://resv.jp/unitcare/)

■第3期リーダー研修■	
講義会場	座学日程
次城:伊勢基本社中央ビル	10/14~10/16
福岡:アクロス福岡	10/21~10/23
名古屋:ウインクあいち	10/28~10/30
新潟:新潟県民会館	11/4~11/6

■第4期リーダー研修■	
講義会場	座学日程
福岡:パビヨン24	1/20~1/22
横浜:しょうじゅの里鶴見	1/27~1/29
大阪:大阪府社会福祉会館	2/3~2/5

※詳細は同封のチラシ、または推進協ホームページをご確認ください。



平成26年度第2回ユニットケア研修事業推進室 新テキスト作成について協議 後期からの使用を目指す

5月29日、推進協は東京都品川区のフクラシア品川で、平成26年度第2回ユニットケア研修事業推進室会議(事業推進室・繁里弘喜室長)を開いた。
4月に開催した第1回ユニットケア研修推進事業合同会議で了承された新テキスト作成と実地研修施設選定項目の見直しについて協議した。
【第1号議案】新テキスト作成について
後期から新テキスト使用を目指す。章立て、内容担当、スケジュールについて協議した。
今後テキスト作成については、阪田進一委員(関東福祉専門学校校長)、廣池利邦氏(NPO法人アクティビティサイバー協議会会長)、尾島朱美氏(関東福祉専門学校教務主任)が中心となって進めていくことが決まった。
テキスト作成の第1回目の打合せは6月5日(木)に行う。
【第2号議案】50項目見直しについて
推進委員が提出した50項目についてのアンケートや意見に基づき、新実地研修施設選定調査項目(案)を6月中に事務局で作成。実地研修施設の施設長で調査員の池原香委員、井手明利委員、野方美香委員、星野進委員の施設で、模擬調査を7月中に実施予定。模擬調査結果を踏まえ、新選定調査項目を作成。
今年度実施の実地研修施設の再調査から使用開始する。

5月の『1行ニュース』まとめ

推進協ホームページで毎日更新している「1行ニュース」1か月分のタイトルをまとめました。
※日付は1行ニュースにアップした日。

- 1日:15年度介護報酬改定へ議論開始(社会保障審議会・介護給付費分科会)
- 5日:介護施設、「持ち株」で連携(政府)、要介護度改善で報酬(川崎市)、キャリア段位制度評価者研修の受付開始(シルバーサービス振興会)
- 12日:社会福祉法人の課税、抜本的見直しを確認(税制調査会)、介護従事者の処遇改善法案提出へ(与野党)
- 13日:アセッサー講習、14年度は19都市で(シルバーサービス振興会)、介護福祉士見直し1年延長は「懸念に配慮」(厚生労働省・岡田太造社会援護局長)、介護職員処遇改善の議員立法、与党が了承(与党政策責任者会議)
- 15日:医療・介護一括法案 与党賛成多数で可決(衆院厚生労働委員会)
- 19日:介護職員処遇改善の議員立法を可決(衆院厚生労働委員会)
- 20日:取りまとめへ、法人の責任など最終議論(社会福祉法人の在り方等に関する検討会)
- 21日:介護職処遇改善の法案、衆院を通過(衆議院)、看護・介護職に離職時届け出制度(厚生労働省・人材不足分野等における人材確保・育成対策推進会議)
- 23日:検討会前倒し立ち上げ(厚生労働省)
- 28日:介護人材の確保対策で検討会、6月に初会合(厚生労働省)、アセッサー講習、6月11日まで追加募集(シルバーサービス振興会)



推進協 会員施設 向けサービス **無料** ホームページ 作ります。
推進協では、ホームページを開設していない会員施設向けに、ホームページ作成のサービスをしています。ご希望の施設様は事務局にご相談ください。
※パンフレット等いただいた情報を基に事務局で作成します。※推進協ホームページに作成サンプルがありますのでご覧ください。※ヘッダーは施設ごとに変更します。